

| | | | | | |
|---------|--|------------------------------------|------|---------------|------|
| 科目名 | 子ども家庭福祉（保育士必修：社会福祉士必修） | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 学年 | 1 | | |
| 開講時期 | 2023年度 前期 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 佐々木 誠二 | | | | |
| 内容および計画 | <p>【授業の目的】 子ども家庭福祉の理念や法制度、子どもを取り巻く生活問題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項を学ぶことを目的とします。</p> <p>【授業方法】 本講義では主にパワーポイントでの資料提示を行いながら講義形式で進めます。</p> | | | | |
| 1 | ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行います。 | | | | |
| 2 | 子ども家庭福祉の理念と概念 子ども家庭福祉の理念、「児童の最善の利益」について学びます。 | | | | |
| 3 | 子ども家庭福祉の歴史の変遷と諸外国の動向 子ども家庭福祉における歴史変遷について、諸外国の特徴を交えながら学びます。 | | | | |
| 4 | 子どもの人権擁護 子どもの人権擁護のしくみがどのように構築されてきたのか学びます。 | | | | |
| 5 | 子ども家庭福祉の制度と実施体制 子ども家庭福祉サービスの基本的な理念や実施主体、施設、機関等を定める法律や制度を学びます。 | | | | |
| 6 | 子ども家庭福祉の施設と専門職 保育所をはじめとする児童福祉施設の種類やその目的、役割、配置されている専門職を学びます。 | | | | |
| 7 | 少子化と地域子育て支援 子育て家庭のニーズに対応する子育て支援サービスについて学びます。 | | | | |
| 8 | 母子保健と子どもの健全育成 妊娠から学童期までの支援体制を学びます。 | | | | |
| 9 | 多様な保育ニーズへの対応 多様な保育ニーズに対応するためのしくみや、さまざまな保育形態について学びます。 | | | | |
| 10 | 子ども虐待、DVの防止と障害のある子ども、少年非行等への対応① 子ども虐待やDVの現状や子どもに及ぼす影響、防止のための取り組みについて学ぶ。また、障害児への支援や非行の現状や支援について学びます。 | | | | |
| 11 | 子ども虐待、DVの防止と障害のある子ども、少年非行等への対応② 子ども虐待やDVの現状や子どもに及ぼす影響、防止のための取り組みについて学ぶ。また、障害児への支援や非行の現状や支援について学びます。 | | | | |
| 12 | 貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応 貧困の現状や貧困のなかで子ども期を過ごすことの子どもに与える影響について学ぶ。また、外国にルーツを持つ子どもの現状を学びます。 | | | | |
| 13 | 社会的養護 社会的養護の概要やその方向性等を学びます。 | | | | |
| 14 | 次世代育成支援と地域福祉 次世代育成支援対策と「連携・協働」や「ネットワーク」について学びます。 | | | | |
| 15 | 全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行います。 | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| | タイトル | 著者名 | 出版社 | ISBN | 発行年 |
| | 新基本保育シリーズ3 子ども家庭福祉第2版 | 公益財団法人児童育成協会監修 新保幸男（編集）・小林理（編集） | 中央法規 | 9784805887868 | 2023 |
| | | | | | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

配布する講義資料をベースに授業を勧めます。テキストは講義内容の理解を深めるものに活用してもらいます。
 ※社会福祉士取得希望者は『最新社会福祉士養成講座3 児童・家庭福祉』（中央法規）があるとより良いと思います。

| | |
|------------|--|
| 参考書 | 『平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』（チャイルド本社） 『社会福祉小六法』（ミネルヴァ書房） 『ひと目でわかる保育者のための子ども家庭福祉データブック 2023』（中央法規） |
|------------|--|

| 成績評価 | |
|------------|-------|
| 評価方法 | 割合(%) |
| レポート | 70 |
| リアクションペーパー | 30 |
| | |
| | |
| | |
| | |

リアクションペーパーは授業中に配布・回収を行います。

| | |
|---------------|---|
| 学習到達目標 | (1) 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史変遷について理解できる。 (2) 子どもの人権擁護について理解できる。 (3) 子ども家庭福祉の精度や実施体系等について理解できる。 (4) 子ども家庭福祉の現状と課題について理解できる。 (5) 子ども家庭福祉の動向と展望について理解できる。 |
| 先修条件 | 特になし。 |
| 実務経験 | 実務経験あり：児童相談所，児童自立支援施設で勤務した経験をもとに、子ども家庭福祉の基礎・応用について教授する。 |
| その他 | 授業展開は予定です。授業の進捗などにより、内容などが変更される場合もあります。 |